

早稲田大学大学院 教育学研究科
2026年度 修士課程入学試験問題の訂正内容

<一般・外国学生入試 専門科目>

【学校教育専攻】

【設問 I】 2ページ 問題2 (13)

<誤> 「シュワブ (Shuwav. j, j,)」

<正> 「シュワブ (Shuwav. J, J,)」

以上

2026年度 早稲田大学大学院教育学研究科

修士課程 一般・外国学生入学試験問題

[専門科目] 【学校教育専攻】

解答上の注意

1. 学校教育専攻の入学試験問題は、出願時に届け出た研究指導・指導教員の専門分野により下記の表のように分かれています。「志願票に記入した研究指導名」にしたがって指定された「解答すべき設問」を解答しなさい。

志願票に記入した研究指導名	志願票に記入した指導教員名	解答すべき設問
教育学研究指導	藤井 千春	設問Ⅰ
教育史研究指導	三上 敦史	
教育哲学研究指導	坂倉 裕治	
教育内容・方法研究指導	根津 朋実	
学校経営学研究指導	菊地 栄治	
比較教育学研究指導	鴨川 明子	
教育行財政学研究指導	阿内 春生	
教育工学研究指導	三尾 忠男	
発達・教育心理学研究指導	上淵 寿	設問Ⅱ
臨床心理学研究指導	堀 正士	
教育評価・測定研究指導	椎名 乾平	
学校心理学研究指導	本田 恵子	
社会心理学研究指導	安達 智子	
初等教育学研究指導	河村 茂雄	設問Ⅲ
初等教育学研究指導	佐藤 隆之	
初等教育学研究指導	大泉 義一	
初等教育学研究指導	佐藤 寛之	
初等教育学研究指導	大村 龍太郎	
教育社会学研究指導	吉田 文	設問Ⅳ
社会教育学研究指導	坂内 夏子	設問Ⅴ
生涯教育学研究指導	濱中 淳子	設問Ⅵ
生涯教育学研究指導	田辺 智子	設問Ⅶ

2. 「解答すべき設問」以外を解答した場合、当該解答は「0点」となります。
3. 解答用紙の所定欄に、「設問番号」（例：「Ⅰ」・「Ⅳ」など）と「問題番号」（「1」…）を必ず記入すること。また、全ての解答用紙の所定欄に受験番号・氏名・研究指導名・指導教員名を必ず記入すること。
4. 解答用紙は、「問題番号」（「1」…）別に使用すること（一つの問題で一枚使用）。
5. 解答用紙のホッチキスは、はずさないこと。また、無解答の解答用紙でも提出すること。
6. 問題用紙は「8枚」（本ページ含む）、解答用紙は「3枚」です。必ず枚数を確認すること。

以上

2026年度 早稲田大学大学院教育学研究科
修士課程 一般・外国学生入学試験問題
[専門科目] 【学校教育専攻】

設問 I (教育学)

問題1 以下の8題中、1課題を選び、論述しなさい。

※論述にあたっては、選択した課題番号と問題文の全部を書き写してから始めること。

- (1) 日本における公立小学校の特質と課題について、具体的な国を挙げて比較しながら、焦点を絞って論述しなさい。
- (2) 対面授業と HyFlex 型授業のそれぞれについて、その概要と授業者が留意すべきことについて論述しなさい。
- (3) 日本の学校教育の「教科」について、中学校と高等学校との制度的な違いを説明しなさい。
- (4) 1886 年「小学校令」の歴史的意義について説明しなさい。
- (5) デューイの道徳についての考え方を、プラトン及びカントの道徳論と比較して論述せよ。
- (6) ジャン＝ジャック・ルソーの「消極的教育 (éducation négative)」論をてがかりとして、現代の教育問題について論じなさい。
- (7) 人口減少社会における高校教育の課題をひとつ取り上げ、実効性のある解決策について論述しなさい。
- (8) 日本の地方自治体における市区町村立小中学校の教育行政について、執行機関多元主義の観点から、戦後の制度変遷を論じなさい。

問題2 以下の25項目中、5項目を選び、解説しなさい。

※解説にあたっては、選択した番号と項目を書き写してから始めること。

- | | | |
|--|--------------------------------|--------------------------|
| (1) 会津八一 | (2) 孔子 | (3) 教職調整額 |
| (4) 共喰い資本主義 | (5) リュケイオン | (6) 研究開発学校制度 |
| (7) 「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律」(普通教育機会確保法) | | |
| (8) セレスタン・フレネ | (9) 「教育ニ関スル勅語」 | (10) Learning Analytics |
| (11) 教師の専門職性 | (12) 学びの多様化学校 | (13) シュワブ (Schwab, j.j.) |
| (14) 「生活が陶冶する」 | (15) 学童疎開 | (16) 「教育輸出」 |
| (17) 自由進度学習 | (18) フリードリヒ・フレーベル | (19) ルーブリック (rubric) |
| (20) 「小型の共同体、胎芽的な社会」 | (21) グローバル・ジェンダー・ギャップ指数 (GGGI) | |
| (22) スクールロイヤー | (23) 『令和の日本型学校教育』の構築を目指して」 | |
| (24) プログラミング言語 LOGO | (25) サーバントリーダーシップ | |

2026年度 早稲田大学大学院教育学研究科
修士課程 一般・外国学生入学試験問題
[専門科目] 【学校教育専攻】

設問II (教育心理学)

問題1 以下の5題中、1課題を選び、論述しなさい。

※ 論述にあたっては、選択した課題番号と課題文の全部を書き写してから始めること。

- 1) わが国のキャリア支援において、特性因子理論がどのように活用されてきたかについて論述しなさい。
- 2) 児童期において獲得するとされる「二次的信念」について論述しなさい。
- 3) 実践的研究を行う際に留意すべき項目を、①研究のデザイン、②データの妥当性と信頼性、③倫理面に分けて論述しなさい。
- 4) 回帰分析について論述しなさい。
- 5) maternal deprivation が、後に対人関係における問題に影響するプロセスについて論述しなさい。

問題2 以下の11項目中、5項目を選び、解説しなさい。

※ 解説にあたっては、選択した番号と項目を書き写してから始めること。

- (1) 会津八一 (2) 連想ネットワーク (3) サーバントリーダーシップ (4) 心の理論
- (5) 共同注意 (6) 満ち足りた無関心 (7) 陳述記憶と非陳述記憶
- (8) 丁度可知差異 (just noticeable difference) (9) 大気遠近法 (10) 回避・制限性食物摂取症
- (11) イマジナリー・フレンド

2026年度 早稲田大学大学院教育学研究科
修士課程 一般・外国学生入学試験問題
[専門科目] 【学校教育専攻】

設問 III (初等教育学)

問題1 以下の5題中、1課題を選び、論述しなさい。

※論述にあたっては、選択した課題番号と課題文の全部を書き写してから始めること。(ただし、(3)～(5)の課題文の書き写しは下線部のみでよいものとする。)

- (1) 不登校問題の発生要因に関して、子どもの非認知能力の育成の観点から論述しなさい。
- (2) 教科カリキュラムと経験カリキュラムとは何かを相違に注目して説明した上で、二つのカリキュラムの統合について論述しなさい。
- (3) 今後の社会において美術教育が果たす役割について、あなたが予想する社会展望を明らかにしながら、実践例を挙げて論述しなさい。(ここでいう「美術教育」とは、小学校、中学校、高等学校で実践される普通教育における美術教育のことである。)
- (4) 科学教育においては、宣言的知識は「ことば」だけに限定されない知識内容によって構成されていることがある。このような宣言的知識の特徴により、学習者の自然認識は多様性をもつことになる。学習者の自然認識が多様性をもつことになる理由について、「ことば」だけに限定されない宣言的知識の特徴を概説したうえで、具体的な事例を挙げて論述しなさい。
- (5) 学校教育では、授業において「子どもが主体的に学ぶこと」が大切であると言われる。では、「子どもが主体的に学んでいる」とはどういう状態のことを言うのか、教育学の研究知見や文部科学省の示す学習指導要領の見解等をふまえて論述しなさい。また、それを実現するために授業づくりで大切だと考えることを、具体例を挙げながら論述しなさい。

問題2 以下の21項目(1)～(21)中、5項目を選び、解説しなさい。

※解説にあたっては、選択した番号と項目を書き写してから始めること。

- | | | | |
|------------|-----------------|--------------|-------------------------------------|
| (1) 会津八一 | (2) 科学的リテラシー | (3) ウェルビーイング | (4) ヴィクター・ローウェンフェルド |
| (5) 安全行動 | (6) アブダクション | (7) 恩物 | (8) 正統的周辺参加 |
| (9) 防衛機制 | (10) 造形的な見方・考え方 | (11) 自由進度学習 | (12) SEL(Social Emotional Learning) |
| (13) 生産的失敗 | (14) メッシングアバウト | (15) 合理的配慮 | (16) ホモ・ファール |
| (17) 頭足人 | (18) ルーブリック | (19) 発達課題 | (20) プラグマティズム |
| (21) 学校風土 | | | |

2026年度 早稲田大学大学院教育学研究科
修士課程 一般・外国学生入学試験問題
[専門科目] 【学校教育専攻】

設問Ⅳ(教育社会学・社会教育学)

この設問Ⅳは、出願時に「吉田文」を指導教員とした志願者が選択して解答する問題である。
解答用紙に「設問番号」を記入する欄があるが、その欄には「Ⅳ」と記載すること。

問題1 以下の設問について論述しなさい。

日本では、大学院進学者が増加しないことが政策的課題となって久しい。その理由について、プッシュ要因（教育を受ける側）とプル要因（教育を受けた者を処遇する側）とに分け、両者の関係について論述しなさい。

問題2 以下の5項目(1)～(5)中、2項目を選び、解説しなさい。

※解説にあたっては、選択した番号と項目を書き写してから始めること。

- (1) 会津八一 (2) 訓練可能性 (3) 葛藤理論 (4) ラベリング理論 (5) 相対的リスク回避仮説

問題3 社会調査ならびにその分析にかんする以下の3点について、それぞれ答えなさい。

※解答にあたっては、(1)、(2)、(3)と記してから始めること。

- (1) 悉皆調査をした場合、統計的検定は必要か。必要か否かを答えたいうえで、その理由を説明しなさい。
- (2) KJ法とはどのような手法か。「カード化」「グルーピング」「脱文脈化」の3つの用語を用いて説明するとともに、本手法が有効とされる分析場面についても述べなさい。
- (3) 半構造化インタビュー調査において、20名の協力者が得られることになった。この場合、質的調査の観点から、全員の聞き取りが終わった後にまとめて分析するのと、逐次的に分析を進めるのとでは、どちらがより適切と言えるか。あなたの考えとその理由を述べなさい。

2026年度 早稲田大学大学院教育学研究科
修士課程 一般・外国学生入学試験問題
[専門科目] 【学校教育専攻】

設問Ⅴ(教育社会学・社会教育学)

この設問Ⅴは、出願時に「坂内夏子」を指導教員とした志願者が選択して解答する問題である。
解答用紙に「設問番号」を記入する欄があるが、その欄には「Ⅴ」と記載すること。

問題1 以下の設問について論述しなさい。

循環的な生き方を可能にするリカレント教育の意味と現状について論じなさい。

問題2 以下の5項目(1)～(5)中、2項目を選び、解説しなさい。

※解説にあたっては、選択した番号と項目を書き写してから始めること。

- (1) 会津八一 (2) 社会教育法第3条 (3) 公民館 (4) 家庭教育 (5) 『論語』

問題3 以下の10項目(1)～(10)中、5項目を選び、解説しなさい。

※解説にあたっては、選択した番号と項目を書き写してから始めること。

- | | |
|--------------------|------------------|
| (1) ラングランの生涯教育論 | (2) ジェルピの生涯教育論 |
| (3) フレイレの「解放の教育」 | (4) メジローの「変容的学習」 |
| (5) ノールズの「アンドラゴジー」 | (6) 老年教育学 |
| (7) ワーク・ライフ・バランス | (8) デス・エデュケーション |
| (9) 学校応援団 | (10) 障がい者青年学級 |

2026年度 早稲田大学大学院教育学研究科

修士課程 一般・外国学生入学試験問題

[専門科目]

【学校教育専攻】

設問VI(教育社会学・社会教育学)

この設問VIは、出願時に「濱中淳子」を指導教員とした志願者が選択して解答する問題である。
解答用紙に「設問番号」を記入する欄があるが、その欄には「VI」と記載すること。

問題1 以下の設問について論述しなさい。

戦後日本において大学の量的拡大が進められてきたが、それは教育の質にどのような影響を及ぼしてきたか。大学進学率や大学設置の動向、教育政策の変化などに触れながら、戦後から現在にいたる高等教育の展開をふまえて論じなさい。

問題2 以下の5項目(1)～(5)中、2項目を選び、解説しなさい。

※解説にあたっては、選択した番号と項目を書き写してから始めること。

- (1) 会津八一 (2) 機会費用 (3) 理論的飽和 (4) リベラルアーツ (5) 世界大学ランキング

問題3 社会調査ならびにその分析にかんする以下の3点について、それぞれ答えなさい。

※解答にあたっては、(1)、(2)、(3)と記してから始めること。

- (1) 悉皆調査をした場合、統計的検定は必要か。必要か否かを答えたいうで、その理由を説明しなさい。
- (2) KJ法とはどのような手法か。「カード化」「グルーピング」「脱文脈化」の3つの用語を用いて説明するとともに、本手法が有効とされる分析場面についても述べなさい。
- (3) 半構造化インタビュー調査において、20名の協力者が得られることになった。この場合、質的調査の観点から、全員の聞き取りが終わった後にまとめて分析するのと、逐次的に分析を進めるのとでは、どちらがより適切と言えるか。あなたの考えとその理由を述べなさい。

2026年度 早稲田大学大学院教育学研究科
修士課程 一般・外国学生入学試験問題
[専門科目] 【学校教育専攻】

設問Ⅶ(教育社会学・社会教育学)

この設問Ⅶは、出願時に「田辺智子」を指導教員とした志願者が選択して解答する問題である。
解答用紙に「設問番号」を記入する欄があるが、その欄には「Ⅶ」と記載すること。

問題1 以下の設問について論述しなさい。

図書館、博物館、公民館などの社会教育施設では、近年、非正規職員が増加している。①その背景と要因、
②現状、③生じうる問題について、それぞれ論じなさい。

問題2 以下の5項目(1)～(5)中、2項目を選び、解説しなさい。

※解説にあたっては、選択した番号と項目を書き写してから始めること。

- (1) 会津八一 (2) 非認知能力 (3) 教育委員会 (4) 公共財 (5) インクリメンタリズム

以下の設問については、問題3・問題4のいずれか一方を選択して解答しなさい。選択した設問の番号(3または4)は、解答用紙の所定欄「問題番号」(「設問番号」の右部分)に明記すること。

問題3 社会調査ならびにその分析にかんする以下の3点について、それぞれ答えなさい。

※解答にあたっては、(1)、(2)、(3)と記してから始めること。

- (1) 悉皆調査をした場合、統計的検定は必要か。必要か否かを答えたいうで、その理由を説明しなさい。
(2) KJ法とはどのような手法か。「カード化」「グルーピング」「脱文脈化」の3つの用語を用いて説明するとともに、本手法が有効とされる分析場面についても述べなさい。
(3) 半構造化インタビュー調査において、20名の協力者が得られることになった。この場合、質的調査の観点から、全員の聞き取りが終わった後にまとめて分析するのと、逐次的に分析を進めるのとでは、どちらがより適切と言えるか。あなたの考えとその理由を述べなさい。

問題4 以下の8項目(1)～(8)中、3項目を選び、解説しなさい。

※解説にあたっては、選択した番号と項目を書き写してから始めること。

- (1) ユネスコ公共図書館宣言 (2) MLA 連携 (3) 総合目録
(4) 中小レポート (5) 博物館法 (6) ICOM
(7) PFI (8) 学び直し

▼ 裏面を使用する場合はここから記入すること



▲ ここまで



▼ 裏面を使用する場合はここから記入すること

▲ ここまで

▼ 裏面を使用する場合はここから記入すること



▲ ここまで

